

## 男女共同参画に関する

# Q&A



### Q. 男女共同参画社会ってなんですか？

**A.** 単に性別によって、男だから、女だからこうしなければならないというものではありません。一人ひとりが個人として人格が尊重され、個性と能力を十分に発揮することができ、男女ともに本人の意思が尊重され、ともに責任も果たしていく社会のことです。

### Q. 女性問題とは具体的にどのようなものをいうの？

**A.** 女性問題とは、女性であるというだけで、その人の個性や能力に関係なく人生の選択肢が制限されたり、さまざまな形の不利益を被ることをいいます。これは、女性個人の尊厳と基本的な権利が尊重されておらず、人権の問題であるという視点が必要です。これらが当たり前のこととして見逃されるのは、「女性はそういうものだ」、「女性だから仕方がない」というジェンダー観によるものです。  
(注) ジェンダーとは、生まれる前に決定される生物学的な性の違いに対して、出生後に周囲と関わりながら育つ中でこうあるべきだとして身についた性差観念を言います。具体的には、日常生活の中で期待される「男らしさ、女らしさ」「男は仕事、女は家庭」といったような考え方のことです。

### Q. 少子化が進んだのは、男女共同参画が進展したからでは？

**A.** 女性の社会進出と少子化とが関連していると思われがちですが、少子化は家庭にいる女性の割合が高い国ほど進んでいるという傾向にあります。北欧のように、「仕事と出産・子育ての両立」社会のしくみを作ってきた国々では、出生率の減少に歯止めがかかっています。  
日本では平成17年4月から「次世代育成支援対策推進法」が本格施行されました。声に伴い、地域における子育て支援や母性、乳幼児の健康の確保・増進等の取り組みが進められています。

### Q. 男性も女性も社会で働くようになったら、子育てや介護は誰がするの？

**A.** 子どもの発達に影響を与えるのは、家庭の内外的な養育の質と言われています。両親、祖父母、保育所、地域の人など、子どもを取り巻く人々全員が、積極的に関心を持って育児を携わり、また支援すれば、子どもの成長に支障が生じないことは、多くの研究者が指摘しています。

発行 下野市総務企画部企画財政課  
〒329-0492 下野市小金井1127 Tel 0285-40-5552  
E-mail : [kikakuzaisei@city.shimotsuke.lg.jp](mailto:kikakuzaisei@city.shimotsuke.lg.jp)

●下野市は男女共同参画社会の実現を目指します。

# ひとりひとりが 幸せに暮らす 社会のために

もし、「女だから、男だから、」  
という理由だけで、したいことができな  
かったり、特定の仕事や役割がかたよって  
いるとしたら…。

女性も男性も自分の意思で  
社会に参画し、やさしく支え合い、  
喜びも責任も分かち合う、そんな社会づくり  
が、みんなの幸せにつながります。

平成19年2月  
下野市